

健康づくりチャレンジ

「いきいきウォーキング」をエントリーされた方で、外出できない方、「足ふみ30分」も可とします。(朝・昼・夜と小分けにしてもOK)

※チャレンジ結果報告は6月15日まで。報告用紙裏面の感想用紙に、必ずこの間の取り組みについて感想をご記入ください。

第31回「旅行サークル」バスツアー中止のお知らせ

5月10日(日)～11日(月)に予定していました「旅行サークル」バスツアー『知多半島海の幸、絶景満喫の旅』は、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止いたします。

次回は、12月6日(日)～7日(月)の予定です。

医療の現場から Vol.17

特定疾患の持病で通院している70歳のAさん。府の認定を受けている事を根拠に、老人医療助成制度(医療費が一医療機関当たり一日500円以内)を利用していましたが、「軽症認定なので特定疾患は非

老人医療費助成制度の経過措置が令和3年3月末で切れます！

該当」という通知が来た」と来室。軽症認定の場合は、医療費の総額が3万3330円(自己負担金がおよそ1万円)を超える月が申請日以前の12か月以内で3ヶ月以上あれば、特定疾患として認定されますが、Aさんには該当しません。「このままでは老人医療費助成も切れてしまう?!」と役所に相談すると、特定疾患で通院している旨の証明書を提出する事で、老人医療費助成は継続できました。

ただし、実はこの老人医療費助成制度、平成30年3月末に廃止され、新規申請はできません。以前から利用していた方は「令和3年3月末まで更新可能」という経過措置があります。

助成が受けられなくなるのは、65歳以上で、「特定疾患」「結核医療」「障害者総合支援法に基づく精神通院医療」が根拠で適応されている人です。

大阪府では「身体障害者手帳1・

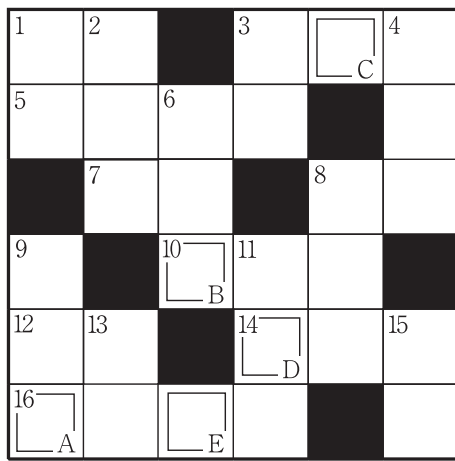
2級」「重度の知的障害者」「中度の知的障害者で身体障害者手帳」「精神障害者保健福祉手帳1級」「特定疾患受給者証所持者で障害年金(または特別児童扶養手当)1級」を持つ方は重度障害者医療費助成の適応が可能です。現在、「老人医療費助成制度」を活用している方は、別の制度が活用できないか、主治医や医療ソーシャルワーカーにご相談してみてください。(鳳クリニック相談室)

お楽しみクイズ クロスワードパズル

●応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入の上、〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてに郵送か、FAX(072-244-7860)、下記のQRコードで取得できるメール(tomo-kenkou@mihara.or.jp)に、しめきり/2020年6月10日(水)消印有効 ●当選発表/厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を。賞品の発送をもって発表に替えさせていただきます。 ●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。



カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何?



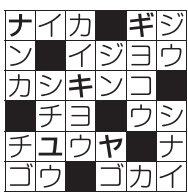
- ①釣り——を垂れる
②みち。高速——
③日本の秋を飾る代表的な花

- ④——のち雨
⑤火災を防ぐこと
⑥雨季の対
⑦より証拠
⑧硬貨
⑨火災を防ぐこと
⑩バック
⑪千の十倍

タテのキー

ヨコのキー

- ①東西↓経度、南北は
②蹴ること
③当選確実の略
④より証拠
⑤教育の——均等
⑥似た者同士で——が合う
⑦——休す
⑧複雑の対。——明瞭



●3月号の答「ユキヤナギ(雪柳)」 ●応募数/98通

短歌

眠られず病室より見る夜景 大仙陵の昔時をおもふ

手嶋喜代子

俳句

遊歩道愛でる人なし桜咲く 陵墓へと続く玉砂利桜まじ 遊歩道楽しみ増すや目白くる 陽春もコロナが居てて寡黙なり

手嶋喜代子 高野 純 手嶋 光生 林 研

川柳

ベッドを増やせ!何故に言われない専門家 クシヤミでるコロナか花粉か分からない

堺谷九条男 高橋 宏

*句を詠む時の情景や思いもお寄せください。 *俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2020年6月10日(水)です。 *特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

会員さん紹介 ④1

美木多支部 ほうしょう なか こ 北條 中子さん



昭和9年12月、檜尾の生まれ。7年前に亡くなった夫・信一さんとは、働いていた農協で知り合い、結婚。2人の子どもに恵まれ、孫は5人、ひ孫は8人います。

「80歳過ぎたら、1年ごと(こ)足や腰が痛くなるけれど、家のことは一日かけて、疲れたら横になったりして、一人でやっている」と言う中子さん。信一さんの入院中、「あんたが体つぶしたらいけないよ」とご近所さんにお世話になるなどし、たくさんの人とのつながり・交流が続いています。家にいたら誰かが来てくれていた毎日ですが、今は「コロナで」「行きたいけど、行かれへんから」と電話がかかってくる。 「とも」は毎月、必ず声をかけて配達し、楽しみなお買い物ツアーへもお誘いします。「つらいこともあったけれど、人生のいい勉強。人の悲しみのわかる人間にならなければ」と言う中子さん。帰りには、庭のフリージアを切って、持たせてくださいました。

マスク作成

ボランティアのお願い

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、耳原総合病院では入院患者さんへも常時のマスク着用をお願いすることになりました。

今回、そのためのマスク作成ボランティアを募集します。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

健康友の会みみはら事務局 電話072-244-8061